

ノスタルジアとおとぎ話

ニューヨークで大好評のソロピアノコンサート「BLUEPRINTS Piano Series」(ブループリント ピアノ シリーズ)の初日本公演。ノスタルジアとおとぎ話を元にしたシューベルト・アルベニス・ラベルの曲をソロと連弾で演奏します。

プログラム

- シューベルト ● ピアノソナタ No.21 D.960
- アルベニス ● イベリア第1巻 エヴァカシオンと港
- ラベル ● 夜のガスパール スカルボ
- ラベル ● マ・メール・ロア

土肥絵里香

Daniel Anastasio



2018 7/29(日) 会場 13:30 開演 14:00

入場料 ¥3,000【全自由席】

未就学児の入場はご遠慮ください。



チケット取扱 青山音楽記念館 TEL.075-393-0011

チケットぴあ (Pコード 115-891) TEL.0570-02-9999 セブンイレブン等でも購入できます。

後援 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)

ピティナ <http://www.piano.or.jp/concert/support/> セブンイレブンで発券・お支払いができます。

Barocksaal
バロックザール

京都 青山音楽記念館
Aoyama Music Memorial Hall



BLUEPRINTS

PIANO SERIES

「BLUEPRINTS (ブループリント)」ソロピアノ・コンサートシリーズはピアニスト土肥絵里香とダニエル・アナスタシオが2017年1月にニューヨーク、マンハッタンで設立した。

これは、様々なジャンル(クラシック、モダン、ジャズと即興)で活躍するピアニストが集まってコンサートをする企画であり、ブループリントとは、綿密な計画に基づいた青写真のこと。毎回のコンサートで、ひとつのテーマに沿って全ての作品を結びつける青写真を作り、一人一人のピアニストがそれぞれ持つ個性や特徴を活かす場(コミュニティ)を作る事がミッション・ステートメントである。

2017年第1期は3回、2018年第2期は2回ニューヨーク・マンハッタンで開催され、これまでに、ストニーブルック大学教授クリスティーナ・ダール、コーネル大学教授ミリ・ヤンボルスキー、日本人現代音楽ピアニストとして有名な木川貴や、ジャズで活躍しているグレン・ザレスキーそしてアバンギャルドジャズで活躍しているシルビー・コバシエなどを迎え、大成功に終わった。

第2期3回目となる2018年5月はニューヨークのジャズ・ギャラリーで、日本にも何回か来日しているジャズピアニストのファビアン・アルマザン、ニューヨークで好評を博しているクリス・テイビス、カナダ人のジャズピアニストジョン・ステッチなどを迎えるコンサートになる。

今回はブループリントディレクターによる、初来日のコンサートである。

土肥絵里香

大阪出身。15歳で渡英し、現在ニューヨークでピアニストとして活動中。2015年にフルート・ピアノユニット RighteousGIRLS(ライチャス・ガールズ)ファーストアルバム「gathering blue (ギャザリング・ブルー)」をリリース、数々のニューヨークのレビューで高い評価を受け、また、ジャズ専門誌「ダウンビートマガジン」で4.5スターを獲得、2015年ベストアルバムに選ばれ、2017年にはニューヨークのリンカーンセンターでコンサートデビューした。



ニューヨークの様々な音楽シーンで活躍する絵里香は、イーストビレッジにある作曲家ジョン・ゾーンのアバンギャルドなクラブである「The Stone」でジャズトランペッター、ワグダ・レオ・スミスのレジデンシーに2017年春招待され、好評を博した。また、RighteousGIRLS(ライチャス・ガールズ)以外にも多数のコンテンポラリー・アンサンブルに招かれ、Metropolis Ensemble(メトロポリス・アンサンブル)とは2017年夏にニューヨークのブライアント・パークのインターセクト・フェスティバルで演奏する。

今年8月(2018年)には、インディ・ロックバンド「Wye Oak (ワイ・オーク)」とロスのハリウッドボールで演奏する。夫のダニエル・アナスタシオとのピアノコンサートシリーズ、BLUEPRINTS Piano Series (ブループリント・ピアノ・シリーズ)もニューヨークで大好評である。

また、モンリオールジャズ音楽祭、DCジャズ音楽祭、パンフジャズ音楽祭、ノーフォーク国際音楽祭など、海外の様々な音楽祭に出演し、ジャズトランペッターアンブローズ・アキンムシレとも共演している。

絵里香は日本でも、「朝の光のクラシック」、NHK・FMの「名曲リサイタル」、リーガロイヤルホテル「Rの音楽会」など、たびたびコンサートに出演。

2008年には阪哲朗氏指揮の下、アンサンブル神戸とガーシュイン作曲「ラブソフィーインブルー」を演奏し、2013年には東京エクスペリメンタル・フェスティバルに参加した。

これまでに、内海啓、渡辺泉、稲垣千賀子、ヴァレリア・セルヴァンスキー、ロナルド・カヴァイエの各氏にクラシックを、ヴィゼ・イアー氏に即興を学び、ストニーブルック大学ではギルバート・カリッシュ、クリスティーナ・ダールに師事。イギリスのパーセル音楽高校を卒業後、渡米、ニューヨークのマンハッタン音楽大学卒業、さらに奨学金を得て、同大学院コンテンポラリー科卒業、修士号を取得。2018年ストニーブルック大学院にて博士号の学位を取得。

ダニエル・アナスタシオ

テキサス州サン・アントニオ出身のソロピアニスト、室内楽奏者、教育者。ダニエル・アナスタシオは、知的好奇心と並外れたテクニックと豊かな感受性(リバード・レポート)を持ち合わせている。



ロンドンのウィグモアホールで、かの有名なピアニスト・指揮者レオン・フライシャーのもと、イサカカレッジ室内楽オーケストラとベートーベンのコンチェルト第三番を演奏した時は、「今夜のハイライトだ!聴衆のスタンディングオベーションがそれを物語っている!」(ECMレビュー)と謳われた。ダニエルはストニーブルック大学院とジュリアード音楽院でコンチェルトのファイナリストになっている。これまでも、室内楽の中でトップと言われる夏の音楽祭、サンタバーバラ・ミュージックアカデミー・オブ・ザ・ウエスト、カナザルホール音楽祭、タングルウッド音楽祭、イエロー・バーン音楽祭などに招待された。

また彼は、若い作曲家に委託した曲を演奏するUnheard-of//Ensemble(アンハードオブ・アンサンブル)の創設者の一員であり、ピアニストの妻、土肥絵里香とのプロジェクト、ニューヨークのマンハッタンで活動しているソロピアノコンサートシリーズ、BLUEPRINTS Piano Series (ブループリント・ピアノ・シリーズ)の共同創設者でもある。

これまでに、レベッカ・ウィリコス、ジェロム・ローウェンタール、ザック・ベルキンに師事した。チューズデイ・ミュージカル・クラブでポーマン賞を受賞、サンアントニオ・オーケストラでフェーチャー・スター賞を受賞、ミッド・テキサス・シンフォニーのコンチェルトソリストとしても活躍している。

コーネル大学で哲学と音楽の学士号を取得、ジュリアード音楽院で修士号を取得、そして現在、ストニーブルック大学において、博士号候補生としてギルバート・カリッシュとクリスティーナ・ダールに師事。

今年2018年1月からは、サン・アントニオ・カレッジで教鞭を取っている。

Barocksaal
パロックザール

京都 青山音楽記念館
Aoyama Music Memorial Hall

〒615-8282 京都市西京区松尾大利町9-1 TEL.075-393-0011

